

**「高校生の海外留学支援制度設計に係るコンサルティング及びウェブサイト構築・運用業務委託」  
質問書の回答について**

No.	項目	質問内容	回答
1	「全体」	本委託の採択事業者が、次年度に想定される実施での委託応募の対象外となることはないと考えてよろしいでしょうか？	対象外とすることは想定していません。
2	「業務説明資料」 6 業務内容(2) 「世界を目指す若者応援事業」の分析 に関わる他自治体制度調査と拡充の 方向性の提案	ここで言う他自治体は都道府県、政令都市のみで良いでしょうか。	そのとおりです。
3	「業務説明資料」 6 業務内容(2) 「世界を目指す若者応援事業」の分析 に関わる他自治体制度調査と拡充の 方向性の提案	対象としては「高校生」であり「大学生」を対象としている物は調査対象から外して問題無いでしょうか。	問題ありません。
4	従来の若者応援事業	合格者の人数等は10名前後ということなのですが、そもそもの応募者総数はどのくらいでしょうか。	直近2年間の実績を次のとおり、お示します。 (令和2・3年度は新型コロナにより、事業中止) 【令和4年度】 応募者数:20名 支援者数:18名 【令和5年度】 応募者数:35名 支援者数:33名
5	従来の若者応援事業	この応募そのものをどの程度に増やしたいなどの意向はありますか？	参加意向申出書提出者に別途ご提供した資料8ページにおいて、支援概要を示しておりますので、ご確認ください。
6	従来の若者応援事業	合格率などを考えた時に、希望しているけれど不合格となって居る学生さんがいるのであれば何が理由で落選となったのかなど傾向があれば教えてください。	No.4の回答のとおり、例年、応募者のうち若干名が不合格となっています。国際理解・国際交流に関心を持ち、海外の国や地域との相互理解と友好親善に寄与しようとする意欲が十分に確認できなかったことが主な理由となっています。
7	「資料3」 1(1)ウ (イ) 留学支援関係 (過去の留学生の体験談)	体験談の取材先の選定は受託者側で行うのでしょうか？また体験談の掲載で想定している人数は何人程度でしょうか？	取材先の対象は、過去に本市制度を活用した方を想定しています。取材先の選定は、委託者と協議して、決定します。 また、掲載人数は、5～10人程度を想定しています。
8	「資料3」 1(1)ウ (イ) 留学支援関係 (過去の留学生の体験談)	体験談の動画や写真の撮影はスマートフォンレベルで良いでしょうか？	使用する機材は問いませんが、ウェブサイトでの掲載において、画質が担保できるよう撮影してください。 【参考】「柳井正財団」 ( <a href="https://www.yanaitadashi-foundation.or.jp/voice/">https://www.yanaitadashi-foundation.or.jp/voice/</a> )
9	「資料3」 1(2)ウ (イ) 留学支援関係 (過去の留学生の体験談)	体験談で想定している記事の文字数はどれくらいをお考えでしょうか？	2,500～3,000文字程度を考えています。 【参考①】「トビタテ！留学JAPAN 留学大図鑑」 ( <a href="https://tobitate-mext.jasso.go.jp/zukan/">https://tobitate-mext.jasso.go.jp/zukan/</a> ) 【参考②】「柳井正財団」 ( <a href="https://www.yanaitadashi-foundation.or.jp/voice/">https://www.yanaitadashi-foundation.or.jp/voice/</a> )
10	「資料3」 1(3)ウ (イ) 留学支援関係 (過去の留学生の体験談)	体験談で制作する動画の想定分数はどれくらいをお考えでしょうか？	1人当たり15秒程度の動画を、5～10人分作成いただくことを想定しています。
11	「資料3」 1(4)ウ (イ) 留学支援関係 (過去の留学生の体験談)	体験談で制作する動画のクオリティを知りたいため参考となる動画を教えてください。	次のウェブサイトの動画を参考としてください。 【参考】「柳井正財団」 ( <a href="https://www.yanaitadashi-foundation.or.jp/voice/">https://www.yanaitadashi-foundation.or.jp/voice/</a> )
12	「資料3」 1(4)ウ (イ) 留学支援関係 (企業・大学関係者が考える留学のアドバンテージ概評掲載)	企業・大学関係者は受託者が選定すると考えてよろしいでしょうか？	候補者は、受託者からの提案に基づき、委託者と協議して、決定します。
13	成果物の評価基準およびプロセスについて	プロジェクトの成果物や各活動の成果を評価するための具体的な基準や評価プロセスの詳細・KPI等があればご教示ください。	成果物の評価においては、市内在住・在学の高校生にとって海外留学が身近な選択肢となり、より多く留学を決定する後押しとなるような制度になっているか、また当該制度が多く市民・企業に周知されるための広報戦略・専用ウェブサイトを作成、運用できているかどうかを基準とします。
14	ウェブサイトのコンテンツ要件について	ウェブサイトで使用できる動画や写真などは、横浜市からご提供いただけるのでしょうか。それとも受託者が用意することになりますでしょうか。	本市が所有している写真等はご提供しますが、その他コンテンツ作成において必要となる写真等は、受託者が用意してください。
15	業務説明資料	「Webアプリケーションの脆弱性チェックリスト」に定めるほか、本資料に基づき業務を行うこととありますが、チェックリストとはIPAが指定しているものでしょうか？そうでない場合指定(開示)先を教えてくださいいただけますでしょうか。	そのとおりです。IPA(独立行政法人情報処理推進機構)が提供している「安全なウェブサイトの作り方 改訂第7版」(チェックリスト)を、次のリンクよりダウンロードの上、ご利用ください。 ( <a href="https://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity/about.html">https://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity/about.html</a> )
16	説明資料6. 業務内容 (5) ウェブサイトの構築・運用	各資料に基づく前提のもと、Web制作に使用する技術や言語等の指定はありますか？	指定はありませんが、バンダーロックインにならないよう、制作してください。
17	資料3 P.41 (2) ウェブサイト運用 ア セキュリティ (7) 情報セキュリティを確保するための体制の確保	外部の脆弱性診断ツールを用いたセキュリティ管理は可能でしょうか。	脆弱性診断ツールを体制の1つとして導入することは考えられますが、WAFや仮想パッチ等の「等」に含まれるわけではありません。